

Red Folder :

First Hit Previous Doc Next Doc Go to Doc#
End of Result Set

CONFIDENTIAL

L22: Entry 1 of 1

File: DWPI

APR 12, 2002

DERWENT-ACC-NO: 2002-389723
DERWENT-WEEK: 200242
COPYRIGHT 2008 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Payments program includes list of companies which provides credit cards to user, from which one company is selected corresponding to which payment data with purchase order data are transmitted to supplier

INVENTOR: YOSHIDA K

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

JAPAN TOTAL DESIGN COMMUNICATION KK

CCC

NITON

PRIORITY-DATA: 2000JP-296923 (September 28, 2000)

~~SECRET~~ ~~SECRET~~ ~~SECRET~~

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
7-2002109455-4	April 12, 2002	JA

APPLICATION-DATA:

FUR-NO	APPL-DATE	APPL-NO	DESCRIPTOR
JP2002108435A	September 28, 2000	2000JP-296923	

INT-CL-CURRENT:

TYPE	IPC	DATE
CIPS	G96 Q 10/00	20060101
CIPS	G96 Q 20/00	20060101
CIPP	G07 G 1/12	20060101
CIPS	G97 G 1/14	20060101

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 2002109435 A
BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Several companies which provide credit cards for the user are displayed when purchase order data (D1) is transmitted by a user through a portable terminal (2). A specific payment company is selected by the user, corresponding to which payment data and purchase order data are transmitted to a supplier for delivering goods to the user.

DESCRIPTION - An INDEPENDENT CLAIM is included for payment system.

http://jupiter1:42900/bin/gate.exe?f=doc&state=4ka76b.24.1&ESNAME=FULL&p Message=&q... 8/27/2008

JP2002-109435

USE - Payments program for settling payment for purchase of goods, through internet.

ADVANTAGE - Enables the user to select a company from various payment companies which provides credit card for purchase of goods. Thus utilization of credit card companies is performed effectively.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the functional block diagram of the payments system. (Drawing includes non-English language text).

Portable terminal (2)

Purchase order data (D1)

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 2002109435 A
EQUIVALENT-ABSTRACTS:

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/10

TITLE-TERMS: PROGRAM LIST COMPANY CREDIT CARD USER ONE SELECT CORRESPOND PAY DATA
PURCHASE ORDER TRANSMIT SUPPLY

DERWENT-CLASS: T01 T05

EPI-CODES: T01-J05A1; T05-L01A;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: 2002-305672

[Previous Doc](#)

[Next Doc](#)

[Go to Doc#](#)

(31)Int.Cl.	類別記号	PI	PI	PI (備考)
G06F 17/60	414	G06F 17/60	414	8E042
	400		400	5B040
	506		506	5B035
G07G 1/12	321	G07G 1/12	321L	
1/14		1/14		

特許請求の範囲 有 請求項の枚数 6 GL (全 7 頁)

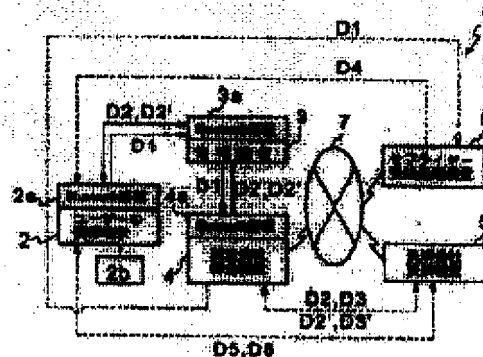
(21) 出願番号	特願2006-296323(P2006-296323)	(71) 出願人	500023742 株式会社ジャパン・トータルデザイン・コミュニケーション 東京都港区赤坂1丁目6番8号
(22) 出願日	平成18年9月25日(2006.9.25)	(72) 発明者	菅原 一二 東京都港区赤坂1丁目6番8号7号 株式会社ジャパン・トータルデザイン・コミュニケーション内
		(74) 代理人	160062183 弁護士 岡 良久 Fターム(参考) 52043 0003 5204 EAD4 52046 0006 5204 FFM 0003 0006 52053 0200

(G-4) 【発明の名称】 読書プログラムおよび読書システム

(57) 【要約】

【課題】 この発明は、ユーザが競争連表上で決済に際して種々の決済会社の中から選択することができるようにした決済プログラムおよびそのシステムに関する。

【解決課題】 情報機器が情報を提供する商品やサービスについてユーザーが携帯端末で発注データを送信すると、該発注データを受信すると共にユーザーの履歴情報等端末に決済を行う際の複数の決済会社を選択可能に表示する決済データを送信し、ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ与信を求める与信データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに与信を年々決済を要する決済データが送られるとサブライヤーに前記発注データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 現金装置に設けられた決済プログラムであって、

情報機器が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが携帯端末で発注データを送信すると、該発注データを受信すると共にユーザーの前記携帯端末に決済を行う複数の決済会社を選択可能に表示する決済データを送信し、

ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ年債を求める年債データないし決済を求める決済データを送り、

該決済会社の決済装置からユーザーに年債を与える年債データないし決済を求める決済データが送られるとサブライヤーに前記発注データと決済データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済プログラム、

【請求項2】 サプライヤー側に設けられた情報機器に接続された現金装置に設けられた決済プログラムであって、

情報機器が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが携帯端末で発注データを送信すると、該発注データを受信すると共にユーザーの前記携帯端末に決済を行う複数の決済会社を選択可能に表示する決済データを送信し、

ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ年債を求める年債データないし決済を求める決済データを送り、

該決済会社の決済装置からユーザーに年債を与える年債データないし決済を求める決済データを受信すると前記発注データに基づいてユーザーへの商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済プログラム、

【請求項3】 情報機器が情報を提供する商品やサービスについてユーザーが携帯端末で発注データを送信すると、これを受けた現金会社の現金装置からユーザーの携帯端末に決済を行う複数の決済会社を選択可能に表示する決済データが送信され、

ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信した現金装置は通信ネットワークを介して前記指定された決済会社へ年債を求める年債データないし決済を求める決済データを送り、

該決済会社の決済装置からユーザーに年債を与える年債データないし決済を求める決済データが現金装置に送られると、現金装置からサブライヤーに前記発注データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済システム、

【請求項4】 サプライヤー側に情報機器が設けられており、該情報機器が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが携帯端末で発注データを送信すると、これを受けた現金会社の現金装置からユーザーの携帯端末に決済を行う複数の決済会社を選択可能に表示する決済データが送信され、

ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信した現金装置は通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ年債を求める年債データないし決済を求める決済データを送り、該決済会社の決済装置から現金装置にユーザーへ年債を与える年債データないし決済を求める決済データが送られると、現金装置はサブライヤーに前記決済データを送り、サブライヤーに前記発注データに基づいてユーザーへの商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済システム、

【請求項5】 ユーザーの携帯端末と、情報機器と、現金装置にそれぞれ1000ポイント等のポイント価値を付与されてデータ交換しうることを特徴とする請求項1から4に記載の決済システム、

【請求項6】 現金会社からユーザーの携帯端末に送られる決済データが、ユーザーの前記携帯端末の第1画面に1つの決済会社とその他とが選択可能に表示されており、その他を選択すると第2画面に該他が第1画面に表示された決済会社以外の決済会社を選択しうるように画面構成されていることを特徴とする請求項1から4に記載の決済システム、

【発明の詳細な説明】

【0001】

【従来の技術】 従来、ユーザーが商品やサービスの提供を受ける場合には、サブライヤーが契約している特定のクレジットカードなどの決済会社との間で、債権決済を行ない、年債の許否を判断して年債決済を行っておりユーザーが決済会社を選択する余裕が充分ではなかった。また、現時はインターネット上で利用できる電子マネーも知られているが、利用法は限られている。

【0002】

【発明が解決しようとする課題】 この発明は、上記事情に鑑みて鋭意研究の結果創案されたものであって、その主たる課題は、ユーザーが携帯端末上で決済に際して種々の決済会社の中から選択することができるようになった決済プログラムおよびそのシステムを提供することにある。

【0003】

【課題を解決するための手段】 この発明は上記課題を解決するために、請求項1の決済プログラムの発明では、現金装置に設けられた決済プログラムであって、情報機器が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが携帯端末で発注データを送信すると、該発注データ

を受信すると共にユーザーの前記携帯端末に決済を行うる複数の決済会社を選択可能に表示する決済データを送信し、ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ受信を求める受信データないし決済を求める決済データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに受信を求める受信データないし決済を認める決済データが送られるとサブライヤーに前記発信データと決済データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせる。という技術的手段を講じている。また、請求項2の決済プログラムの発明では、サブライヤー側に設けられた情報機器に接続された現金装置に設けられた決済プログラムであって、情報機器が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが携帯端末で発信データを送信すると、該発信データを受信すると共にユーザーの前記携帯端末に決済を行うる複数の決済会社を選択可能に表示する決済データを送信し、ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ受信を求める受信データないし決済を求める決済データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに受信を求める受信データないし決済を認める決済データを受信すると前記発信データに基づいてユーザーへの商品またはサービスの提供を行わせる。という技術的手段を講じている。

【0004】請求項3の決済システムの発明では、情報機器が情報を提供する商品やサービスについてユーザーが携帯端末で発信データを送信すると、これを受けた現金装置の現金装置からユーザーの携帯端末に決済を行うる複数の決済会社を選択可能に表示する決済データが送信され、ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信した現金装置は通信ネットワークを介して前記指定された決済会社へ受信を求める受信データないし決済を求める決済データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに受信を求める受信データないし決済を認める決済データが現金装置に送られると、現金装置からサブライヤーに前記発信データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせる。という技術的手段を講じている。また、請求項4の決済システムの発明では、サブライヤー側に情報機器が設けられており、該情報機器が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが携帯端末で発信データを送信すると、これを受けた現金装置の現金装置からユーザーの携帯端末に決済を行うる複数の決済会社を選択可能に表示する決済データが送信され、ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指

定した決済データを送信すると、該決済データを受信した現金装置は通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ受信を求める受信データないし決済を求める決済データを送り、該決済会社の決済装置から現金装置にユーザーへ受信を求める受信データないし決済を認める決済データが送られると、現金装置は情報機器に上記決済データを送り、サブライヤーに前記発信データに基づいてユーザーへの商品またはサービスの提供を行わせる。という技術的手段を講じている。

【0005】また、請求項5の発明では、前記ユーザーの携帯端末と、情報機器と、現金装置にそれぞれBluetooth等のポイントツーポイント間で接続されてデータ交換しうる。という技術的手段を講じている。請求項6の発明では、現金装置から送られる決済要求データが、ユーザーの前記携帯端末の画面に1つの決済会社とその名が選択可能に表示されており、その名を選択すると第2画面に選択された1画面に表示された決済会社以外の決済会社を選択しうるように画面構成されている。という技術的手段を講じている。

【0006】

【発明の構成】以下に、この発明の決済システムの構成要素について図面を参照しながら説明する。図1および図2は本発明のシステム1では、ユーザーが使用する携帯端末2と、一組の現金装置や車内に設置されて商品やサービスの情報を提供する情報機器3と、インターネット等の通信ネットワーク7に接続された現金装置の現金装置（現金サーバー）4と、同時に前記通信ネットワーク7に接続された決済会社の決済装置（決済サーバー）5およびサブライヤーの受信処理装置（受信サーバー）6とからなっている。

【0007】本発明では、前記携帯端末2と、情報機器3と、現金装置4とは、それぞれにBluetooth等のポイントツーポイント間で接続され、ここでBluetoothとは、ブルートゥース・スペシャル・インタレスト・グループ（Bluetooth special interest Group）により定義されている。これは確立されていない工業規格に属するが、通信帯域が2.45GHzの空いているISM（Industrial, Scientific, Medical；産業・科学・医療用）周波数において、0dBmすなわち、1ミリワットの出力で実現されるように意図され、その通信距離は10メートルで、データ伝送レートは721kbit/sである。この規格は周波数ホッピングとそして時分割多重接続を利用する。参考文献：コードネーム・ブルートゥース。無線接続用の全世界的仕様（AGlobal Specification for Wireless Connectivity）、ブルートゥース・スペシャル・インタレスト・グループ、www.bluetooth.com、1998年時。

【0008】ここで携帯端末2は、データを送受信可能な無線装置2aを搭載したものでディスプレイ装置2bを装備した携帯可能なものであればその構造を問わないが、例えば携帯電話やPDA、携帯型ゲーム機などに前記無線装置を搭載したものが用いられる。

【0009】情報機器3は、インターネット等の通信ネットワークに接続可能な機器、例えばパソコン、PDA、ウェブTV（画像）、デジタルTVなど、または独立して使用されるそれ以外の機器、例えば電話、ラジオ、カーナビなどである。この情報機器3は、携帯端末2の無線装置2aとデータ送信可能な無線装置3aを接続した構成からなっている。

【0010】次に、資金会社の資金装置4は、本実施例では前記と同様の無線装置4aを搭載すると共に、通信ネットワーク7に接続可能なパーソナルコンピュータからなっており、前記情報機器3の近くに設置されて無線装置4a、3a間でデータ送信可能となっている。また、決済会社の決済装置5やサプライヤーの受注処理装置6は、それぞれパーソナルコンピュータ等の提供端末またはサーバからなっており通信ネットワーク7に接続されている。

【0011】ここで、ユーザーには、個人、法人、企業、公的機関等その他の法人や団体などが含まれる。また、決済会社には、銀行、郵便局、農協、信託会社、通信キャリア、その他の決済システムが含まれる。サプライヤーには、企業、個人、公的機関、その他の法人や団体などが含まれる。

【0012】次に、この決済システムの手順について説明する。ユーザーは、携帯端末2に搭載されたBluetooth構成の無線装置2aと情報機器3に搭載されたBluetooth構成の無線装置3aとを通信させて、ディスプレイ装置2b上に情報機器3が提供する商品やサービスの情報データを文字やアイコンなどで表示してもよい。そこで、ユーザーはディスプレイ装置2bで表示された中から気に入ったものを選択し、発注データD1を送信する。

【0013】あるいは、ユーザー側には商品やサービスの情報データを表示せずに、ユーザーは情報機器3の外部表示に表示された商品やサービスの情報データを見ながら、携帯端末2から発注データD1を送信するようにしてもよい。この発注データD1は、情報機器3のBluetooth構成の無線装置3aと資金会社の資金装置4に搭載されたBluetooth構成の無線装置4aによって交換されて資金装置4のメモリーに記憶される。

【0014】次いで、資金装置4は、その無線装置4aから情報機器3の無線装置3aを介して、ユーザーの携帯端末2の無線装置2aとデータ交換を行って決済データD2を送信し、送信時にはユーザーの前記携帯端末2

のディスプレイ装置2bに決済を行う際の複数の決済会社の文字やアイコンなどを選択可能な表示する（図3参照）。

【0015】決済データD2は、ユーザーの携帯端末2のディスプレイ装置2bに、図3(a)に示すように第1画面として1つの決済会社（図示例ではAAカード）を表示され、その横に「OK」コマンドC1と「その他」コマンドC2が選択可能な表示される。そして、「OK」コマンドC1を選択するとAAカードが決済を行うカードと決定されその決済会社が決まる。

【0016】「その他」を選択すると、前2画面に進み前記第1画面に表示された決済会社のカード以外の決済会社のカードを選択しうるように画面には例えば「BBカード」、「CCカード」、「DDカード」および「Eカード」等の選択可能なコマンドC3が選択可能な表示される。そこで、ユーザーが決済会社をカード（例えばCCカードとする）を選択し、その画面を決定すれば、CCカードが決済を行うカードと決定されその決済会社が決まる。このような決済選択のための画面は、最初（第1画面）に請求される決済会社のカードを、その他の画面の中から選択する決済会社のカードに対して優先性をもたせて表示することができる。

【0017】このようにしてユーザーは、資金会社側が提供する複数の決済会社の中から希望する決済会社を選択した決済データD2が通信手段を介して決済会社に送り渡される。そして、資金会社は、上記決定された決済会社の決済装置5に通信ネットワーク7を介してアクセスし、前記決済データD2と通信を要求する年債データD3とを送る。

【0018】前記決済会社の決済装置5が信用有りと判定すると、年債を与える年債データD3'と、決済処理を行う旨の決済データD2'が通信ネットワーク7を介して資金装置4に送られる。前記装置4は決済データD2'と年債データD3'とを受け取ると、前記記憶された発注データD1を対応するサプライヤーの受注処理装置6に送る。

【0019】また、資金装置4では、前記決済処理を行う旨の決済データD2'を、前記と同様の無線装置4a-3a、3a-2aを介して無線装置3aから携帯端末2に送り、ディスプレイ装置2bに「決済確認」を表示して決済が行われることをユーザーにフィードバックする。

【0020】一方、サプライヤーは、受注処理装置6が発注データD1を受信すると、ユーザーへ商品またはサービスの提供D4を行う。一方、決済会社は、前記ユーザーにメールまたは郵便で請求書または領収書を送る（D5）。そして、これに基づき決済会社はユーザーの口座から決済額を引き下ろし、またはユーザーが現金するなどの第1次決済（D6）が行われる。そして、決済会社は、ユーザーの代金から自己の手取料を差し引いた

金額を第2次決済(D7)として現金会社に振込みなどにより支払う。また、現金会社は自己の手数料を差し引いた金額を第3次決済(D8)として、同様にサプライヤーに支払う。

【0021】上記実施例では、ユーザーの携帯端末2と情報機器3と現金装置4のそれぞれに無線装置2a、3a、4aが搭載された例を示したが、この発明のシステムでは図4に示すようにユーザーの携帯端末2と情報機器3とが無線装置2a、3aでデータ通信を行うことができ、情報機器3と現金装置4とは通信ネットワーク7を介して接続される構成であってもよい。その他の構成は前記実施例と同様であるので、同一構成には同一符号を付してその説明を省略する。

【0022】また、図5に示すように、上記情報機器3と現金装置4とは一つの装置として構成されたものでもよい。即ち、情報機器3には現金装置4に対応するプログラム4'が搭載されており、また通信ネットワーク7に接続される構成であってもよい。

【0023】あるいは、図6に示すように、情報機器3はユーザーの携帯端末2と無線装置2a、3aでデータ20 交換し、あるいは図示しない情報機器3には無線装置を搭載せずにユーザーは情報だけを知ることができ、ユーザーは携帯端末2で通信ネットワーク7を介して現金会社の現金装置(現金装置)4に接続する構成であってもよい。この場合は、ユーザーと現金会社とが情報機器3を介さずに直接にデータ交換を行うことになる。上記各実施例においては、第1実施例と異なる構成以外は同様であるので、その説明を省略する。

【0024】上記各実施例では、現金会社はサプライヤーと共に商品発注データを送る必要があったが、商品やサービスをその場でユーザーに引き渡せる場合には現金会社は受信データだけをサプライヤーに送ればよい。そこで、図7および図8に示す異なる実施例の決済システムでは、例えばファーストフードなどのユーザーとサプライヤーが同一場所(店舗)にいる場合の決済システムについて説明する。

【0025】この場合に、情報機器3はサプライヤーの管理下にある。そして、情報機器3とユーザーの携帯2 30 端末2とは、無線装置3a、2aの交換で、当該店舗の取り扱い商品やサービスをユーザーの携帯端末2のディスプレイ装置2bに表示する。ユーザーは、ディスプレイ装置2bを見ながら携帯端末2で商品を選択し発注する。この発注データD1は、前記無線装置2a、3aを介して情報機器3に送られる。

【0026】情報機器3は、上記発注データD1に対応する代金の決済を求める決済データD2を現金装置4に前記無線装置3a、4aを介して送る。すると、現金装置4は、情報機器3を介してユーザーの携帯端末2に決済選択画面を表示する決済データD2を送信し、決済会社を選択させる。この際のデータ通信には前記無線装置

4aと3a、3aと2aが用いられる。

【0027】このようにしてユーザーが希望する決済会社を決定し、この決済会社を決定した決済データD2が返送されると、前記実施例と同様に、現金装置4は、上記決定された決済会社の決済装置5に通信ネットワーク7を介してアクセスし、上記決済データD2と受信データD3とを送る。

【0028】前記決済会社の決済装置5が運用ありと判定し受信要求に対して受信を要求する第5受信データD3'と決済会社が決済を行う際の決済データD2'が返35 されると、この決済データD2'と受信データD3'は、決済装置5から通信ネットワーク7を介して現金装置4に送られる。そして、現金装置4は、決済データD2'をサプライヤー側の情報機器3に送る。

【0029】決済データD2'を受け取ったサプライヤーは、ユーザーからの発注データD1に基づいてユーザーへ商品またはサービスの提供を行う(D4)。なお、前記決済データD2'は、無線装置3aと3aによる通信でユーザーの携帯端末2にフィードバックされる。上記実施例では、発注データD1の発注内容が前記実施例と異なり、またサプライヤーは商品やサービスなどの独立した構成を供給する必要がないが、その他の構成は前記各実施例と同様であるので、同一構成には同一符号を付してその説明を省略する。

【0030】上記実施例でも、前記図1および図2の実施例の場合と同様に、情報機器3と情報機器3と現金装置4の両方を交換することができる。即ち、図4に示す実施例では、ユーザーの携帯端末2と情報機器3とが無線装置2a、3aでデータ通信を行うことができ、情報機器3と現金装置4とは通信ネットワーク7を介して接続される。

【0031】また、図10に示す実施例では、上記情報機器3と現金装置4とが一体に構成されている。この場合、情報機器3には現金装置4に対応する現金プログラム4'が搭載されており、またその発注のために通信ネットワーク7に接続される構成となっている。これらの実施例の場合にはサプライヤーの発注内容情報は不要となる。その他、要するにこの発明の要旨を定めない範囲で種々設計変更しうることを勿論である。

【0032】

【発明の効果】この発明は上記構成からなっているもので、ユーザーは携帯端末上で商品の発注を行うことができ、また決済に際しては、現金会社が提供する種々の決済会社の中から選択して決済をすることができる。決済会社の選択に際しては、現金会社によって優先順位を設定することができるので、特定の決済会社の利用をユーザーに促すことも可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1実施例の決済システムの全体構成を示す機能ブロック図である。

【図2】同システムの構成を示すブロック図である。

【図3】決済用の画面を示す正面図である。

【図4】別の実施例の決済システムのブロック図である。

【図5】異なる実施例の決済システムのブロック図である。

【図6】更に別の実施例の決済システムのブロック図である。

【図7】現金装置に発注データを送らない別の実施例の決済システムの全体構成を示す機能ブロック図である。

【図8】同システムの構成を示すブロック図である。

【図9】別の実施例の決済システムのブロック図である。

【図10】異なる実施例の決済システムのブロック図である。

【符号の説明】

- 1 決済システム
- 2 携帯端末
- 2a 携帯端末に搭載された無線装置

2b 携帯端末に設けられたディスプレイ装置

3 情報機器

3a 情報機器に搭載された無線装置

4 現金装置の現金装置

4a 現金装置に搭載された無線装置

5 決済会社の決済装置

6 サプライヤーの受発注処理装置

7 通信ネットワーク

D1 発注データ

D2 決済を定める決済データ

D2' 決済を定める決済データ

D3 与信を求める与信データ

D3' 与信を求める与信データ

D4 商品またはサービスの提供

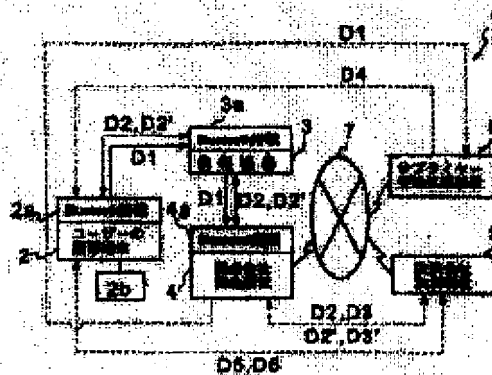
D5 請求書または請求書の送付

D6 ユーザーからの決済（第1次決済）

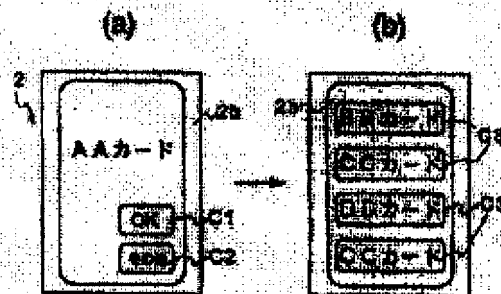
D7 第2次決済

D8 第3次決済

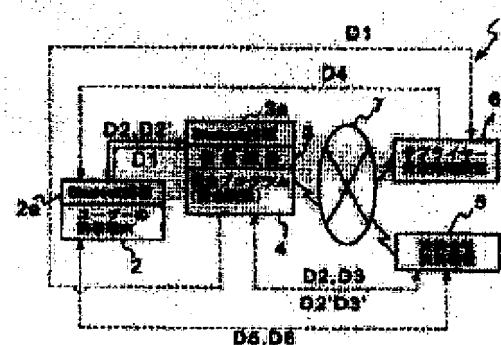
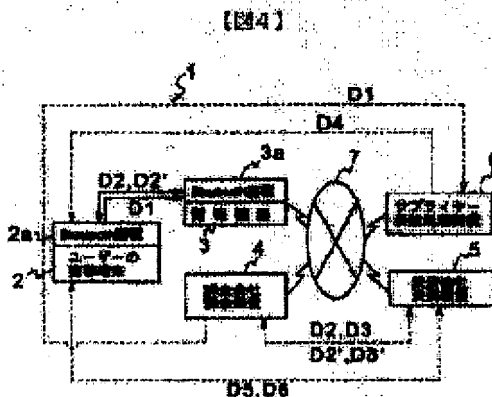
【図1】



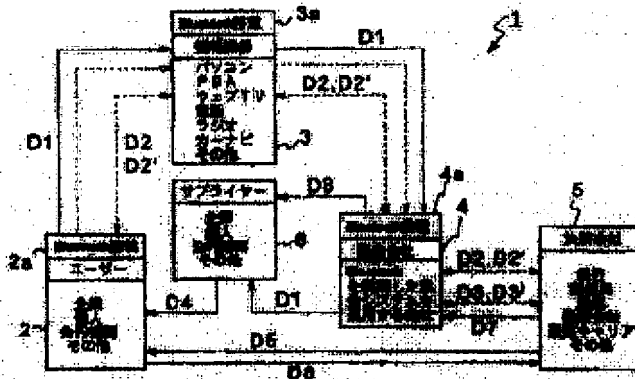
【図3】



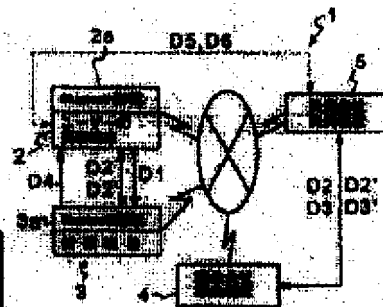
【図5】



【図2】

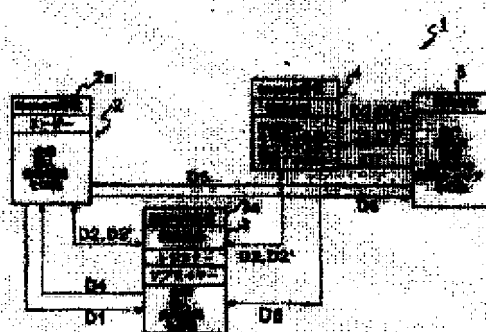
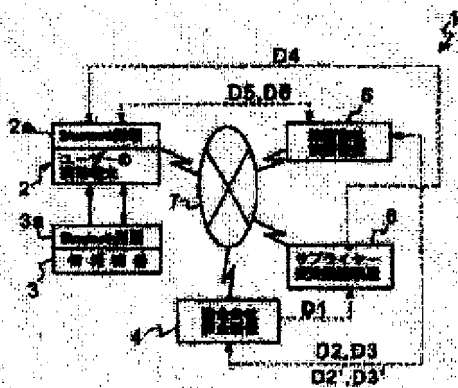


【図9】



【図6】

【図7】



【図8】

【図10】

